会員外広報用

太陽エネルギーデザイン研究会（SDC）主催　講演会

『 2050カーボンニュートラル実現に向けて～自治体、企業、市民の役割は？～ 』

松本　真由美 氏

（前東京大学 教養学部環境エネルギー科学特別部門 客員准教授
NPO法人国際環境経済研究所（IEEI）理事・主席研究員）

『太陽光発電の設計・施工ガイドラインの概要と今後のBIPVへの期待』

大関　崇 氏

（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター 副研究センター長）

『 BIPVの現状と今後のゆくえ』

石井　久史 氏

（株式会社 LIXIL LHT 商品本部 技術研究所 フェロー： SDC副会長）

2026年6月26日(金)　16:00～18:20

（18：30～懇親会）

会　場：日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館3階133教室
参加費：講演会：無料（SDC会員）、1,000円（会員外）
懇親会：4,500円（会員・会員外共）

参加申し込み；6月22日（月）までに下記URLよりご登録ください。
https://forms.gle/McgUScrnRocgm1VWA

講　演　会

15:30～　受付

司会：笠原　唯男（SDC理事、ヴィラソーラー）

16:00～16:05　開会の挨拶　宮崎　淳（SDC会長：日本設計）
16:05～16:50　『 2050カーボンニュートラル実現に向けて～自治体、企業、市民の役割は？～ 』
松本　真由美 氏

――――――――――――――――――――――――――休憩――――――――――――――――――――――――――

17:00～17:45　『太陽光発電の設計・施工ガイドラインの概要と今後のBIPVへの期待』
大関　崇　氏

17:45～18:15　『 BIPVの現状と今後のゆくえ』
石井　久史 氏

18:15～18:20　閉会の挨拶　大野　二郎（SDC名誉会長、大野二郎環境建築研究所）

懇　親　会

18:30～20:00頃　懇親会

会場；日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館2階 カフェテリア

太陽エネルギーデザイン研究会（SDC）
URL：http://www.solar-design.jp/　E-mail：info@solar-design.jp

講演概要・講演者プロフィール

会員向け、会員外広報用(共通)

講演①『2050カーボンニュートラル実現に向けて～自治体、企業、市民の役割は？～』

概要；地球温暖化が進む中、世界の多くの国は地球温暖化対策を検討し、行動を起こしている。日本は2020年10月26日、当時の菅首相が国会の所信表明演説で、「2050年までにカーボンニュートラルを実現する」と政府として初めて公的に宣言した。2021年には「2030年46%削減目標」などを追加表明している。カーボンニュートラルを実現するためには、国によるどんな方策が必要なのか。　また自治体、企業、市民の役割を考える。

松本 真由美 氏（前東京大学 教養学部環境エネルギー科学特別部門 客員准教授
NPO法人国際環境経済研究所（IEEI）理事・主席研究員）

略歴
上智大学外国語学部卒業。専門は科学コミュニケーション・環境・エネルギー政策論。研究テーマは、「エネルギーと地域社会との共存」、「環境・エネルギー政策の国際比較」「企業の環境経営動向（脱炭素経営、SDGs等）」等、環境とエネルギーの視点から持続可能な社会のあり方を追求する。

大学在学中から、TV朝日報道番組のキャスター、リポーター、ディレクターとして取材活動を行い、その後、NHK BS1でワールドニュースキャスターとして「ワールドレポート」等の番組を6年間担当した。2004年以降、環境NPO活動に携わる。2008年5月より研究員として東京大学での環境・エネルギー分野の人材育成プロジェクトに携わり、2013年4月より東京大学教養学部客員准教授。上長の教授の退官により、2026年3月同大学の教員を辞める。2011年4月よりNPO法人国際環境経済研究所理事・主席研究員。

松本 真由美
（まつもと まゆみ）

講演②『太陽光発電の設計・施工ガイドラインの概要と今後のBIPVへの期待』

概要;これまでに、太陽光発電の安全性向上のため、「建物設置型太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン2025年版」「フレキシブル太陽電池を利用した太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン」等を公開してきた。本講演ではこれらの概要説明と、太陽光発電の今後の方向性におけるBIPVへの期待について述べる。

大関　崇 氏（国立研究開発法人 産業技術総合研究所　再生可能エネルギー研究センター 副研究センター長）

経歴
・東京農工大学博士後期課程　修了　博士（工学）
・2005年　産業技術総合研究所　太陽光発電工学研究センター　入所　（途中、太陽光発電研究センターと組織名変更）
・システムチーム　研究員、主任研究員、研究チーム長
・2020年　福島再生可能エネルギー研究所　再生可能エネルギー研究センター
　太陽光システム研究チーム長、総括研究主幹を経て、副研究センター長（現職）
・2015年4月～2017年3月 経済産業省　資源エネルギー庁　新エネルギー課　課長補佐（出向）
・太陽光発電システムに関する研究に従事、各種ガイドラインの策定に取り組む。
主な業績、委員等
・経済産業省　電力安全小委員会 委員
・経済産業省　電気保安制度ワーキンググループ　委員
・経済産業省　再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会　委員
・JEMA太陽光発電システム標準化総合委員会　副委員長　他
・壁面設置太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン 委員
・他、多数
・建物設置太陽光発電システムの設計・施工ガイドラインの策定・公開
・フレキシブル太陽電池を利用した太陽光発電システムの設計・施工ガイドラインの策定・公開

大関　崇
（おおぜき たかし）

講演③『 BIPVの現状と今後のゆくえ』

概要；エネルギーの70%が都市部で消費され、都市部での創エネの在り方が問われている。都市部の創エネには BIPV が有効であり、消費地と発電地との一致はエネルギー効率も良く、理にかなっている。しかしながら、BIPVを街中で見かけることは非常に少ない。御多分に漏れずBIPVはニッチであり、現時点で事業的な成功が難しいとされる。そこで、本講演では、既に導入されている国内外の事例等をご紹介するとともに、BIPV導入に向けた課題や普遍的な価値を共有し、皆様の新たな気付きに繋げられれば幸いである。

石井　久史 氏（株式会社 LIXIL LHT 商品本部 技術研究所 フェロー、 SDC副会長）

経歴等
・千葉大学大学院 自然科学研究科 博士後期課程修了 博士（工学）、一級建築士
・ファサードエンジニアとして、国内外のプロジェクト経験を有し、各種構工法開発に携わる。
・戸建て住宅向け太陽電池事業をローンチ。総合研究所にて、環境エネルギー分野の研究に従事。
　総合研究所 ゼロエネ建築グループ リーダー、先端技術研究所 主任研究員を経て、現職。
・日本建築学会、国交省建築工事管理指針、METI事業、NEDO事業委員など委員歴多数。
・IEA PVPS Task15 Expert、Activity Leader、IEC TS 63092-3 Project Leader
・当会副会長、日本太陽エネルギー学会 理事、再生可能エネルギー協議会 理事
・非常勤講師：東京都市大学、お茶の水女子大学
業績（プロジェクト＆研究開発、他）
・香港国際空港ターミナル棟、国立新美術館、汐留住友、東大21KOMCEE、産総研BIO-IT、他
・DPG構法、ガラス点支持構法、ケーブルテンション構造を開発し、多くのプロジェクトに実装
・アルミニウム合金建築構造として、アルミハウスプロジェクトなどの開発と実装
・ソーラールーフ、多機能ダブルスキン、簡易ダブルスキンルーバー、ゼロエネトイレ、定
　風量換気装置、ダイレクトボンディング型4辺SSG構法、PVロールスクリーンシステム等
・壁面設置太陽光発電システム設計施工ガイドライン、BIPVってなに？他、多数
受賞歴
・EU PVSEC 2017 Poster Award、グッドデザイン賞2021、2024 、新エネ大賞 財団会長賞
・気候変動アクション環境大臣表彰大賞、日本エネルギー学会進歩賞などを受賞

石井 久史
（いしい ひさし）

会員外広報用

太陽エネルギーデザイン研究会主催
講演会・懇親会　会場案内

日時：2026年6月26日(金)

講演会：16:00～18:20（受付15:30～）

会　場：日本大学理工学部駿河台キャンパス　1号館３階　133教室
千代田区神田駿河町1-8-14
（JR御茶ノ水駅,千代田線新御茶ノ水駅、徒歩2～3分
東京メトロ丸の内線淡路町駅、都営地下鉄新宿線小川町駅、徒歩約３～4分）

懇親会：18:30～20:00頃
会　場：日本大学理工学部駿河台キャンパス　１号館２階　カフェテリア

講演会，・懇親会会場
1号館　3階　133教室
1号館　2階　カフェテリア

A …入試事務室　カフェテリア　CST ホール　B …情報教育研究センター　購買部　カフェ　C …図書館
D …材料創造研究センター　E …研究支援センター

太陽エネルギーデザイン研究会

URL：http://www.solar-design.jp/　E-mail：info@solar-design.jp